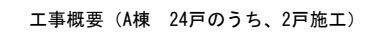


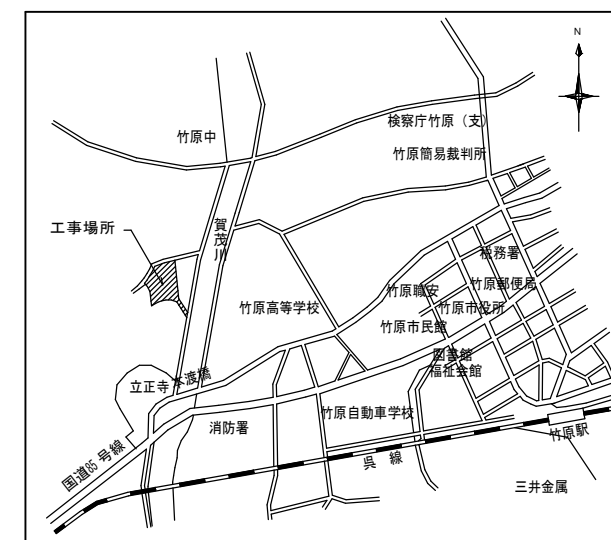
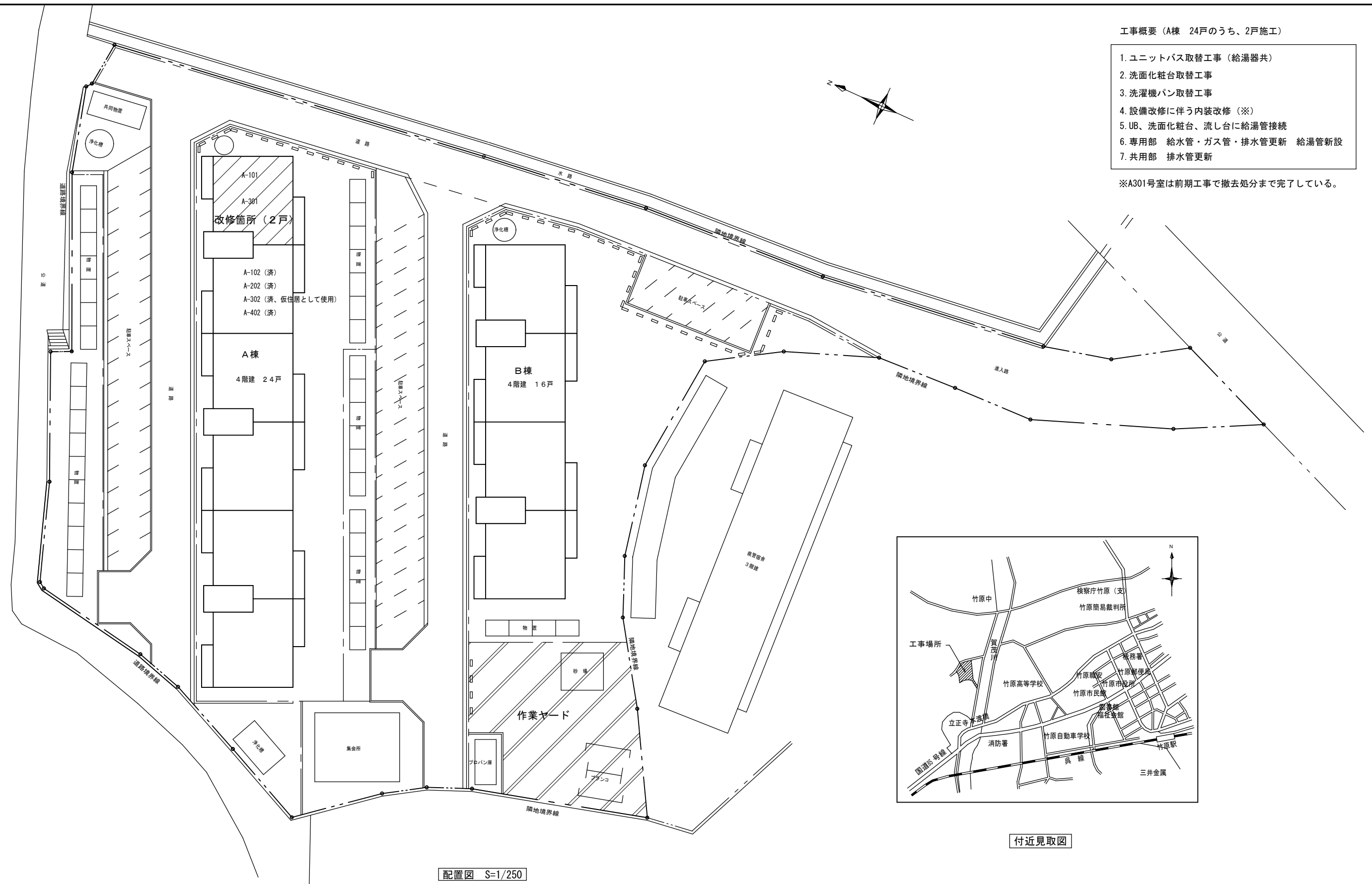
[illegible]

18	ガラス	・ ふすま 張りの種別（ ・ I 型 ・ II 型） 上張り（押入等の裏側以外） ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※ 建具表による ・ ・ 戸ふすま 見込み寸法 ※ 建具表による ・ ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による ・ 枠の材料 ※ 木製枠（6 章内装改修工事による） ・ 鋼製枠（※垂船めつき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板） くつずりの材料 ※ ステンレス鋼板 （3. 7. 5. 13. 2～4）（図 5. 73. 1） 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による	① 内装改修工事	1 他の部位との取り合い等 [6. 1. 3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示	2 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2] ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（ ・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4 章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修部の端部より1 m 程度	3 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書4. 4. 9 によるモルタル塗り（仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の措置 ※ 図示 ・ ） ・	4 木下地等の表面仕上げ [6. 5. 1] 見え掛り面の表面の仕上げの程度 適用箇所 機械加工 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 手加工 ・ H-A 種 ・ H-B 種 ・ H-C 種	5 製材 [6. 5. 2] ・ 「製材の日本農林規格」による地下用針葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法（mm） 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ・ ※2 級 ・ ※2 級 ・ ※2 級 ・	6 造作用集成材 [6. 5. 2] ・ 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法（mm） 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 見え掛り面 ※小節以上 以外 ・	7 造作用単板積層材 [6. 5. 2] ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ（mm） 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用 ・ 有り（加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工） ・ 適用する ・ 無し（等級： ・ ） ・ 適用しない 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ（mm） 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・ 有り（加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工） ・ 適用する ※14%以下 ・ 無し（ ） ・ 適用しない ・ 直交集成材（CLT） 施工箇所 品名 曲げ強度（強度等級） 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法（mm） 間伐材等の適用 ・	8 合板等 [6. 5. 2] ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ ○ 普通合板 施工箇所 厚さ（mm） 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※15 ○2 ※1 類 ・ 2 類 広葉樹 ・ 2 等以上 針葉樹 ※C-D 以上 ・ 適用する ○ 適用しない ・ 構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ（mm） 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2 級以上 ・ 1 級 ※1 類 ・ 特類 以上 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 施工箇所 厚さ（mm） 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1 類 ・ 特類 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 厚さ（mm） 化粧板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1 類 ・ 2 類 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ（mm） 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の適用 ※1 類 ・ 2 類 ・ 適用する ・ 適用しない ○ パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ（mm） 乾式二重床 RS ※13 タイプ ○18 ※P 又は M ・ ※15 ○20 ・ 構造用パネル 施工箇所 等級 厚さ（mm） ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級 ・ ミディアムデンシティファイバーボード（MDF） 施工箇所 厚さ（mm） 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の適用 ・	9 防霉・防蟻処理 [6. 5. 5] ・ 薬剤の加圧注入による防霉防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ 薬剤の塗布等による防霉、防蟻処理 適用部材 処理の方法 ※ 改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ②?～? による ・ ・ 薬剤の接着剤への混入による防霉、防蟻処理 適用部位（ ）	10 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2～4] 野縁等の種類 屋外（ ※ 25 形 ・ ） 屋内（ ※ 19 形 ・ 25 形） ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1 章 17 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3）倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・ 野縁の間隔 ・ 図示 ・ 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該箇において3箇所 ・ ） （確認強度 ※ 改修標準仕様書6. 6. 4 (1) (g) による ・ ） ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井のふとところが1. 5m 以上3. 0m 以下の場合 補強方法 ※ 改修標準仕様書6. 6. 4 (8) による ・ 図示 ・ 天井のふとところが3. 0m を超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6 m を超える天井 ・ 図示 ・ 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25 年国土交通省告示第771 号）第3 第2 項第二号に適合させる。 ・ 図示 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による スタッド、ランナーの種類 [6. 7. 3] [表6. 7. 1] ※ 改修標準仕様書表6. 7. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが9. 0m を超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6. 7. 4. (5) による	11 軽量鉄骨壁下地 [6. 8. 2. 3] 種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ（mm） 備考 ※ FS ○ KS ・ 無地 ○ マーブル柄 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 耐滑性 ※ 目地処理（工法 ※ 熱溶接工法 ・ ） ・ 突付け（施工箇所： ） 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1. 2 以上～3. 2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10 ⁷ ～1×10 ¹⁰ Ω 程度 ・	12 ビニル床シート [6. 8. 2] 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ（mm） 備考 ※ KT ・ TT ・ FT ・ FOA ・ FOB ・ 無地 ・ 柄物 ・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・ 帯電防止 ・ 防汚性 ※ 2. 0 ・ 2. 5 ・ 3. 0 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1. 2 以上～3. 2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10 ⁷ ～1×10 ¹⁰ Ω 程度 ・	13 ビニル床タイル [6. 8. 2] 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ（mm） 備考 ※ KT ・ TT ・ FT ・ FOA ・ FOB ・ 無地 ・ 柄物 ・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・ 帯電防止 ・ 防汚性 ※ 2. 0 ・ 2. 5 ・ 3. 0 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1. 2 以上～3. 2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10 ⁷ ～1×10 ¹⁰ Ω 程度 ・	14 接着剤 [6. 5. 3. 4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 1. 1. 4. 5] 接着剤は可塑性（揮発性の可塑性を除く）が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示	15 ビニル幅木 [6. 8. 2] 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ（mm） ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ（mm） ※ 1. 5 以上 ・	16 ゴム床タイル [6. 8. 2] 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄（ ） 厚さ（mm） ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0 寸法（mm）（ ）	20 フローリング張り [6. 1. 1. 2～6] 単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ（mm） 間伐材等の適用 ・ フローリング ボード1 等 ・ 釘留め工法（根太張り） ※ なら ・ 15 ・ ・ 釘留め工法（直張り） ※ なら ・ 12 ・ ・ 接着工法 ※ なら ・ 8 ・ ・ フローリング ブロック1 等 ・ 接着工法 ※ なら ・ 15 ・ フローリングボードの大きさ ※ 改修標準仕様書表6. 11. 1. 3、5 による 複合フローリング 種類 工法 樹種 種別 厚さ（mm） 間伐材等の適用 ○ 天然木化粧合板 フローリング ○ 釘留め工法（根太張り） ※ なら ・ A 種 ・ 15 ・ ・ B 種 ・ 12 ・ ※ C 種 ○ 12 ・ 接着工法 ※ なら ・ A 種 ・ 12 ・ ・ B 種 ・ 12 ・ ※ C 種 ・ 12 ・ フローリングの大きさ ※ 改修標準仕様書表6. 11. 2. 4. 6 による フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の裏面縦衝材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ 行わない ・ メーカー仕様による
		2 強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類による名称 材料板ガラス 破片の形態及びにショットバック衝撃特性による種類 ・ フロート強化ガラス ・ フロート板ガラス ・ I 類 ・ III 類 ・																		
竹原市建設部都市整備課		設計者・設計事務所名 1 級建築士（大臣登録）第 号	工事名 来須市営住宅ユニットバス等改修工事	図面内容・縮尺 建築改修工事特記仕様書（5）	設計 令和 6 年 A2版—100% A3版—70. 7%	種別 図面番号 A-2														



1. ユニツトバス取替工事（給湯器共）
2. 洗面化粧台取替工事
3. 洗濯機パン取替工事
4. 設備改修に伴う内装改修（※）
5. UB、洗面化粧台、流し台に給湯管接続
6. 専用部 給水管・ガス管・排水管更新 給湯管新設
7. 共用部 排水管更新

※A301号室は前期工事で撤去処分まで完了している。

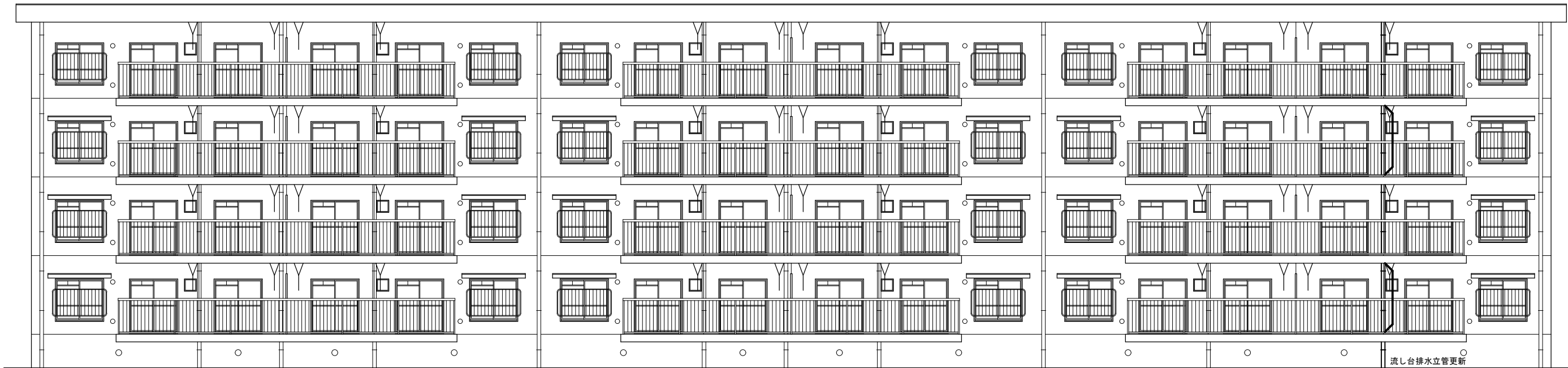


特記事項	訂正事項		JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	PL.	2024		DR.		
							1/250	NAME	
								付近見取図・配置図・工事概要	



便所排水立管（更新済）

北側立面図 S=1/100



流し台排水立管更新

南側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項		JOB. NO.		DATE	SCALE 1/100	TITLE	NO. A / 4	図面縮小率	
			CH.	PL.	2024		来須市営住宅ユニットバス等改修工事		A-2 : 100%	
					DR.				NAME	A-3 : 71%
					A 棟 立面図					A-4 : 50%

特記事項

※1 フロアパネル切断・復旧

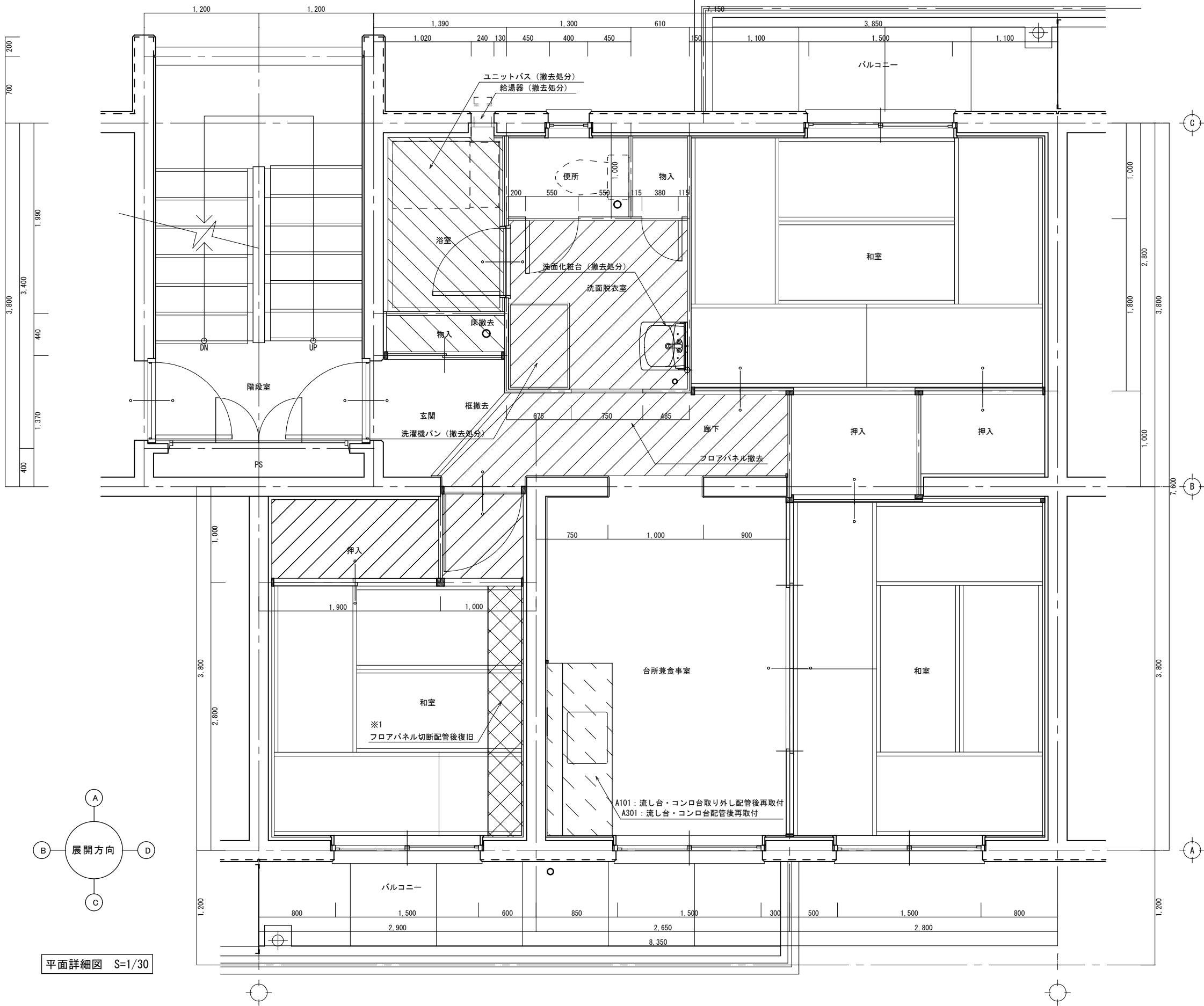
配管新設に必要な範囲のみフロアパネルの切断をすること。

(フロアパネルの切断は必要最小限とする。)

フロアパネルの切断は、極力仕上げに支障のない、隠れる部分を選定

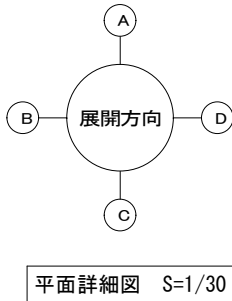
復旧は、上貼りフロアに支障なき様、下地組を行い施工すること。

※A301号室は前期工事で撤去処分まで完了している。

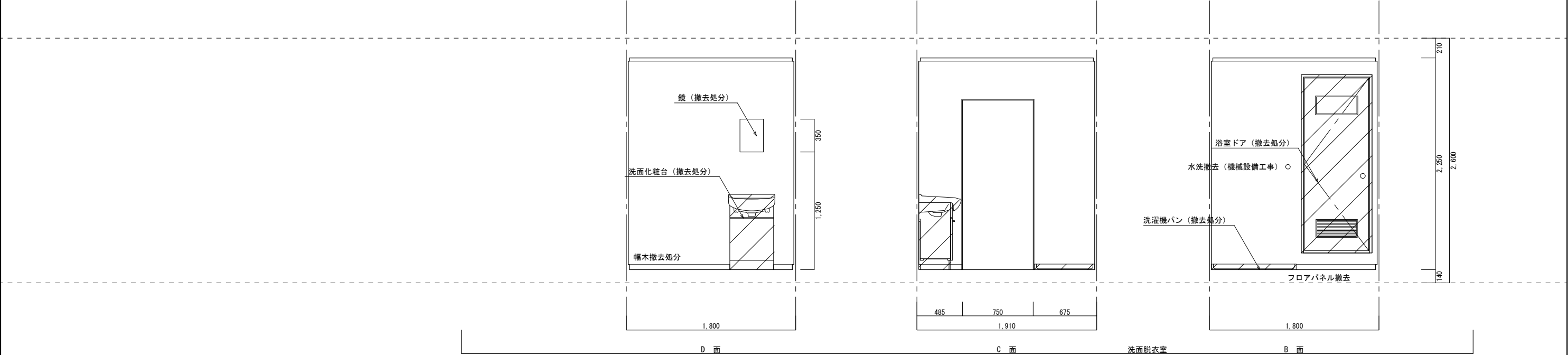
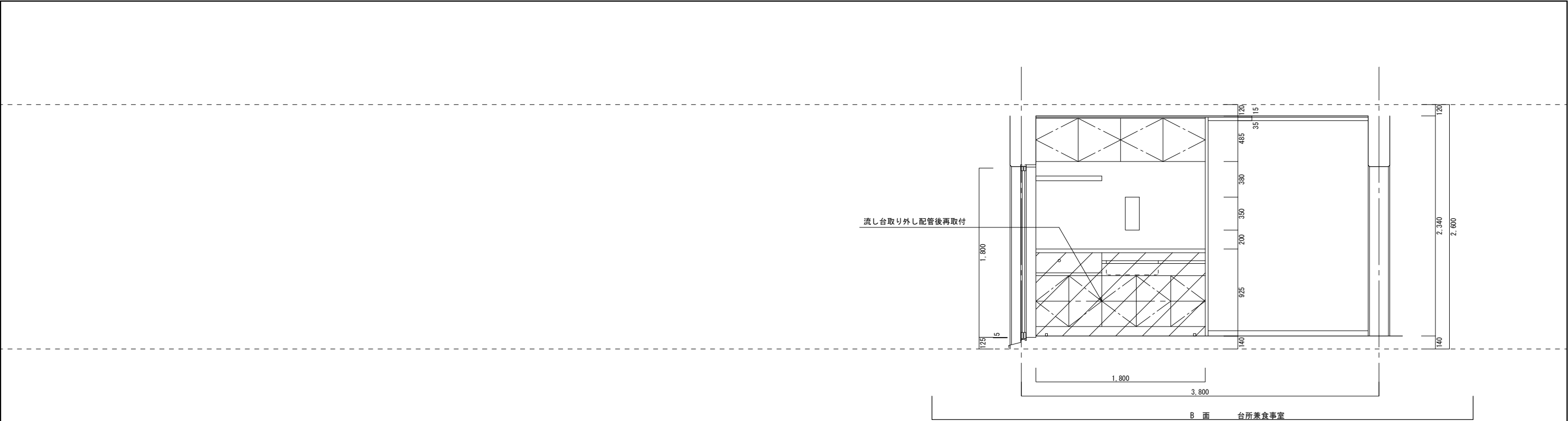


特記事項	訂正事項		JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. A / 5	図面縮小率	
			CH.		P.L.		2024		来須市営住宅ユニットバス等改修工事	A-2 : 100%
							D.R.		NAME	A-3 : 71%
							(改修前) 平面詳細図		A-4 : 50%	

- ※1 ガス給湯器 20号
FH-2013SAW (H¹77) 同等品
給湯能力20号 オートタイプ 壁掛型
浴室・台所リモコン
- ※2 ユニットバス
NJB-1116LBAGTFGNYGWNSCN同等品
握りバー (正面600mm・側面400mm・背面600mm)
- ※3 UB額縁新設
樹脂製
- ※4 天然木化粧複合フローリング[※]1[※]張り
C種下張り 無 厚12
乾式二重床 (パーティクルボード厚20) 下地
- ※5 ビニル床シート (クッション77) 貼
マ[※]P[※]厚 5±1.8 KS
乾式二重床 (パーティクルボード厚20) 、
捨て張り合板 t.5 下地

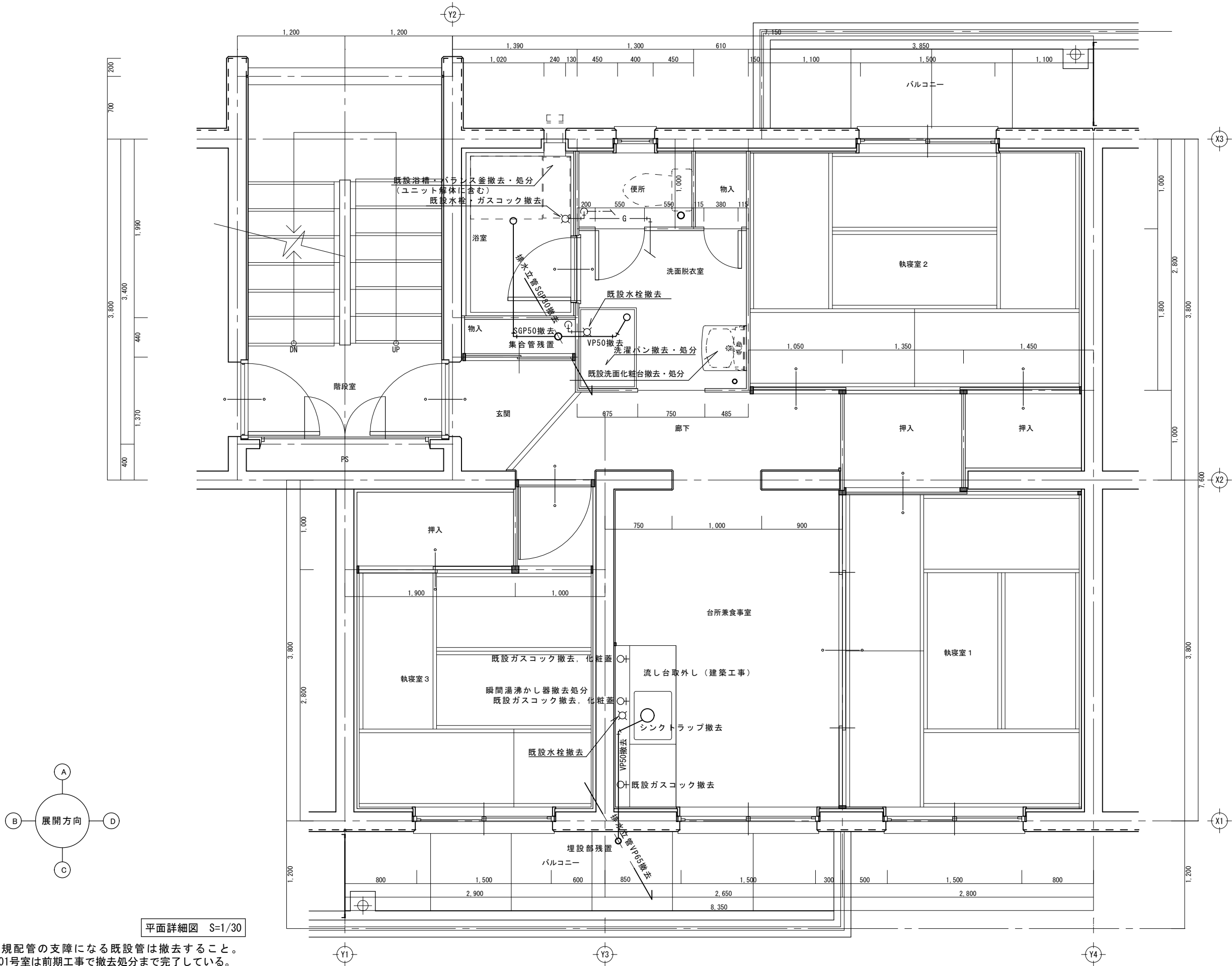


特記事項	訂正事項		JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. A / 6	図面縮小率
			CH.	PL.	2024 DR.	1/30	来須市営住宅ユニットバス等改修工事		A-2 : 100%
							NAME		A-3 : 71%
							(改修後) 平面詳細図		A-4 : 50%



特記事項	訂正事項		JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. A / 7	図面縮小率
			CH.	PL.	2024	1/30	来須市営住宅ユニットバス等改修工事		A-2 : 100%
					DR.		NAME		A-3 : 71%
					(改修前) 展開図		A-4 : 50%		

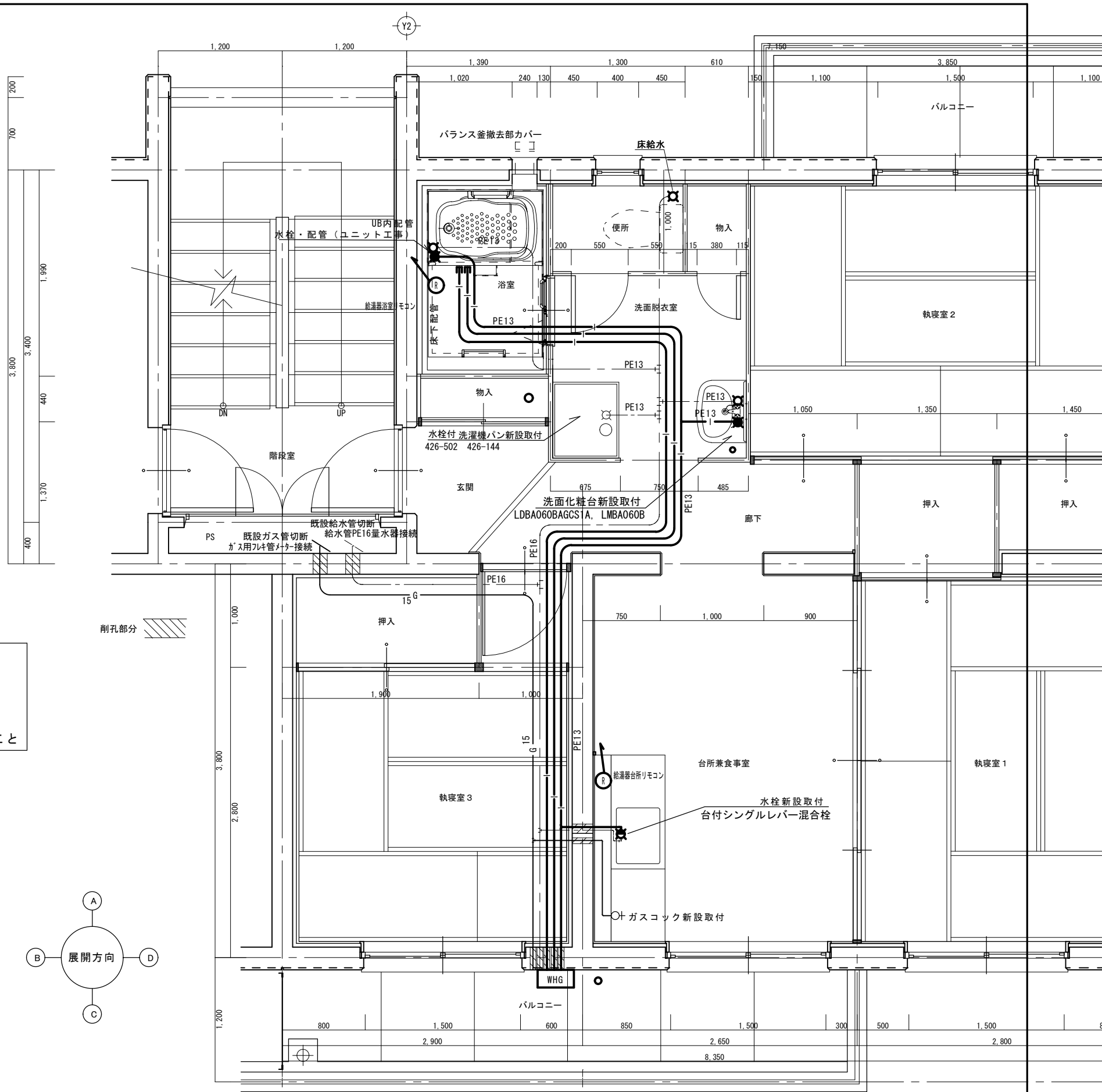
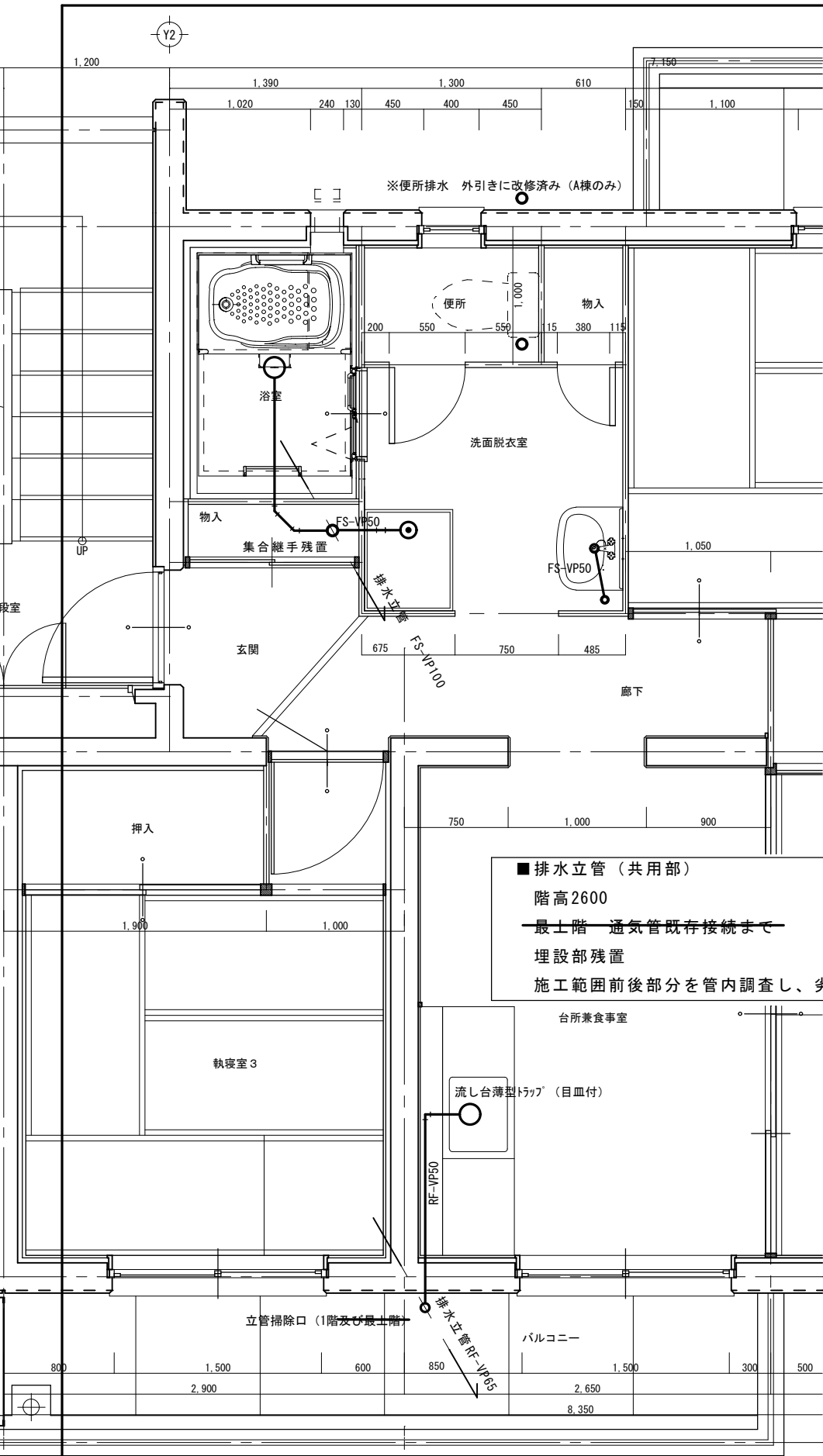
空調設備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内（調整目標値）</th></tr><tr><th>温度（DB）</th><th>湿度</th><th>温度（DB）</th><th>湿度</th><th>温度（DB）</th><th>湿度</th></tr><tr><td>夏季</td><td>34.9℃</td><td>51.0%</td><td>28.0℃</td><td>50%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬季</td><td>-0.2℃</td><td>69.9%</td><td>19.0℃</td><td>40%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内（調整目標値）				温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	夏季	34.9℃	51.0%	28.0℃	50%	℃	%	冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%	℃	%	28. 消音内貼り	1）空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2）内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3）吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。 空気調和機器等又はフィルターの装着枚数の100%を予備品（枠付）として納める。 7000kcal/hは総台数の（・50%・100%）に当たる7000kcal/hを予備品（枠付）として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	排水設備	4）屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部）	石綿含有設備資材の処理について
	外 気 条 件		室 内（調整目標値）																														
温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度																												
夏季	34.9℃	51.0%	28.0℃	50%	℃	%																											
冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%	℃	%																											
気調和・換気設備	2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1）冷水・温水・冷水水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 2）膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 3）冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 4）蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 5）蒸気還水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370Sch40） 6）油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 7）冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 8）空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 9）空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 1）厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2）ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける 3）ばいじん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ・ 取付けない 4）伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに隣する表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30,000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷水水管の接続部（住・道）にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける （定流量弁の場合は ・ ダイナフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形） 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機が表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空調機と機の記載による。	29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	給湯設備	記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。 水中形三相誘導電動機は、（※ 乾式 ・ 油封式）とする。 電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストレナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口径樹等はコンクリート巻き仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。）	I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。 （1）ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1）ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2）ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3）ダクトの切断の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の片側を行う。 （2）たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1）ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2）ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3）ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 （3）配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1）配管の切断は、フランジ部分にかけられない箇所において行う。 （4）成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1）配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2）ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3）配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。																											
	3. 弁類 4. 空調機用トラップ 5. 鋼板製煙道	3）ばいじん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ・ 取付けない 4）伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに隣する表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30,000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷水水管の接続部（住・道）にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける （定流量弁の場合は ・ ダイナフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形） 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機が表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空調機と機の記載による。	排煙設備	1） ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ○ 架構用リフレ管 2）湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水箇の隠へ箇所は保温 h・(イ)・Ⅹ を行う。	II. 石綿を含有する設備資材の処理方法（※撤去費・運搬費・処分費は別途） （1）処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 （2）石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき横外搬出適切処理とする。 （3）横外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 （4）石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																												
換気設備	6. ばい煙濃度計 7. 冷却塔 8. ユニット形空調機 9. ファンコイルユニット	集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含む） リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは（ ・ 再生式 ・ 非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1）据付け方法は ※ 標準図（施工32）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工33）（タンク室有り） 2）保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3）遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4）基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	衛生器具設備	2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS 成形保温材付き配管撤去要領図 S=NS																												
	10. パッケージ形空調機 11. マルチパッケージ形空調機 12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含む） リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは（ ・ 再生式 ・ 非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1）据付け方法は ※ 標準図（施工32）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工33）（タンク室有り） 2）保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3）遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4）基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	自動制御装置	1. 都市ガス設備 ② 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による ③ ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止		ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1）都市ガス ガス事業者の定めによる。 2）液化石油ガス 一般配管用 ○ プロパン用ガスフレキ管 地中埋設用 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg ____本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg ・ 借用 ※ 買取り 1）親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2）子メーター計量方式（ ・ 直読 ・ 遠隔表示 ） 施工方法は標準図（施工73）の（a） ・ （b） ・ （c） 施工方法は標準図（施工74）の（a） ・ （b）																											
13. 空気清浄装置 14. オイルポンプ 15. 開放形膨張タンク 16. 地下オイルタンク	5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	給水設備	1. 都市ガス設備 ② 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による ③ ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止	1. 処理種別及び方式 ・ 小規模合併処理（ ・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式 ） ・ 合併処理（ ・ ） 図示による。 2. その他																													
17. オイルサーピスタント 18. ダクト	5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	給湯設備	1. システム構成その他 2. 配管材料 3. 弁類 4. 量水器 5. 雨水器 6. 緊急遮断弁 6. 網かご形スクリーン 7. 薬液注入装置		図示による。 1）一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA） 2）土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD） 3）地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルブ式 ・ 直読式 ・ ナイフ切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目録の有効開閉は（※ 5mm ・ ____mm）とする。 構成その他は図示による。																												
19. チャンパー等	集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含む） リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは（ ・ 再生式 ・ 非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1）据付け方法は ※ 標準図（施工32）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工33）（タンク室有り） 2）保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3）遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4）基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	浄化槽設備	1. 処理種別及び方式 ・ 小規模合併処理（ ・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式 ） ・ 合併処理（ ・ ） 図示による。 2. その他	冷媒の回収方法について																													
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口	集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含む） リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは（ ・ 再生式 ・ 非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1）据付け方法は ※ 標準図（施工32）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工33）（タンク室有り） 2）保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3）遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4）基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	雨水利用設備	1. システム構成その他 2. 配管材料 3. 弁類 4. 量水器 5. 雨水器 6. 緊急遮断弁 6. 網かご形スクリーン 7. 薬液注入装置		冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は（※ 本工事 ・ 別途工事）とする。 （1）「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ○ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書（都道府県知事登録）の写し ○ 事前確認書の写し ○ 回収依頼書の写し ○ 引取証明書 ○ 破壊証明書の写し （2）ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し																												
23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷水水管等のエア抜き	集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含む） リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは（ ・ 再生式 ・ 非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1）据付け方法は ※ 標準図（施工32）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工33）（タンク室有り） 2）保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3）遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4）基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1） ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2）長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 （共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）線状吹出口には、長さ＋100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4）外壁に面するガラリにチャン																																



平面詳細図 S=1/30

※新規配管の支障になる既設管は撤去すること。
※A301号室は前期工事で撤去処分まで完了している。

特記事項	訂正事項		JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. M 03	図面縮小率
			CH.	P.L.	2024		来須市営住宅ユニットバス等改修工事		
					D.R.		NAME		
							機械設備（改修前）平面詳細図		



平面詳細図（排水） S=1/30

平面詳細図（給水・給湯・ガス） S=1/30

特記事項	訂正事項	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
		CH.	PL.	2024 DR.	1/30	来須市営住宅ユニットバス等改修工事	A-2 : 100%
						NAME	A-3 : 71%
						機械設備（改修後）平面詳細図	A-4 : 50%
						M 04	